

多根クリニック

2023 年度年報

目次

クリニック概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
診療部・・・・・・・・・・・・・・・・	3
看護部・・・・・・・・・・・・・・・・	4
医療技術部 検査科・・・・・・・・・・・・・・・・	5
医療技術部 放射線科・・・・・・・・・・・・・・・・	6
事務部・・・・・・・・・・・・・・・・	7
保健指導室・・・・・・・・・・・・・・・・	8
資格一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	10

〒550-0007 大阪市港区弁天1丁目2番2-600号 大阪ベイトワーイースト6階

TEL：06-6577-1881 FAX：06-6577-1771

交通：電車 JR環状線弁天町駅または大阪メトロ中央線弁天町駅下車徒歩5分



【クリニック概要】

院長	門脇 隆俊
開設日	1993年（平成5年）5月
業務内容	人間ドック（1日・半日）、脳ドック、肺がんドック、心臓ドック
土地・建物（㎡）	延床面積 1,254.00 ㎡
指定・認定関連	日本病院会 人間ドック学会 健診施設機能評価優良施設指定 日本総合健診医学会優良総合健診施設認定 日本病院会人間ドック指定医 脳ドック学会認定施設

（2024年3月現在）

◆診療部

【部署概要】

KHS 内で予防医療(人間ドック、生活習慣病健診、定期健康診断)に関する診療を行っている施設です。
当クリニックは人間ドック学会優良認定施設、総合健診学会優良認定施設、脳ドック学会認定施設、人間ドック健診専門医研修施設、マンモグラフィ検診認定施設を取得した施設である。
常勤医師は 4 名(院長:門脇 隆俊、副院長:堺 栄子、顧問 山田 毅 医師:國重 一郎)と非常勤医師に応援を依頼し診療を行っている。診療内容は診察・結果説明(面談)・読影・紹介状作成等を行っている。
当クリニックでは年間約 21,000 名が受診しており様々な疾病が発見されている。
発見された疾病に対し受診者様が病院への受診を希望する際は、希望する病院様へ紹介している。
また医師による面談以外に管理栄養士、保健師による特定保健指導や一般の保健指導も行っている。

【診療・部署体制】

診療日は毎週月曜日～金曜日の午前・午後、土曜日の午前で行っている(※年 3～5 回祝日営業あり)
診療内容は、内科診察・乳房触診・直腸指診・婦人科診察・結果説明(面談)や胸部レントゲン検査、上部消化管造影検査、マンモグラフィの読影も行っている。また、受診者様の質問に対して電話対応や後日説明も行っており紹介状も年間約 1,600 通作成している。

【診療内容】

人間ドック(一泊・半日)、専門ドック(脳・肺・心臓)、生活習慣病予防健診、定期健康診断、
オプション検査(頭部 MRI 検査、頭部 CT 検査、胸部 CT 検査、上部消化管内視鏡検査、心臓超音波検査、
頸部超音波検査、ABC 検診、ABI・PWV 検査等)
※MRI 検査、CT 検査、血液検査は多根総合病院に依頼している。

【特色・トピックス】

当クリニックは JR 弁天町駅、大阪メトロ弁天町駅より徒歩 5 分圏内にあり両駅に直結通路がある為、荒天の日であっても影響を受けず来院可能です。当クリニックは受診者様に対して質が高い、健診を提供しております。
また、受診者様にアンケートも実施しており良好な評価をいただいております。

【診療・部署実績】

各種健康診断と過去 5 年間の受診者数一覧

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
一泊ドック	280 名	265 名	160 名	150 名	144 名
半日ドック	13,185 名	13,300 名	11,160 名	11,020 名	10,910 名
一般健診	8,100 名	8,370 名	9,000 名	9,400 名	9,910 名
巡回健診	27,400 名	27,600 名	28,300 名	29,000 名	30,000 名
合 計	48,965 名	49,535 名	48,620 名	49,570 名	50,964 名

◆看護部

【部署概要】

多根クリニックは人間ドック（健診）を専門とし予防医療を提供する部署である。
人間ドックの開始時間は 8:00、10:00、12:00 から選択可能で、14:00 からは定期健診を行っている。
専門ドック(脳・肺・心臓ドック)やレディースデイ特殊健診にも対応し様々なオプション検査も選択することができる。人間ドックは来院してから 2 時間～2 時間半で終了できるよう他部署と連携し待ち時間短縮に努めている。
受診者様が安全に安心して受診できることや次回もご利用いただけるよう援助している。

【診療・部署体制】

【スタッフ】

看護師（常勤 7 名、非常勤 4 名） 保健師 1 名

【看護師】

1 日約 7～8 名の看護師が順次来院される受診者様への対応を分担して行っている。
主な業務内容は、採血、問診、診察介助（内科、乳房触診、直腸指診、婦人科）、胃部 X 線やマンモグラフィ検査の準備や案内、医師による健診結果説明（面談）への対応、各医療機関への紹介手続きがある。また総合病院で胃カメラ、MRI、CT(胸・頭)を受けてから人間ドック(健診)に来られる方もいるため問診票の事前確認、健診内容についての相談、来院時の体調管理など看護に関わる全般を対応している。

【保健師】

保健指導室にて管理栄養士と協力して保健指導全般を実施している。

【特色・トピックス】

- ・リピーターの受診者も多い為、前回までの情報を把握し継続看護に努める。
- ・来院時間や検査項目により検査や診察の案内を調整しスムーズな健診案内
- ・健診当日の保健指導が実施できるよう協力し案内
- ・ニーズに応じ胃カメラ枠の増加や受診者枠の変動、新規受診者の受け入れと体制の整備
- ・顧客満足度の向上への取り組み(アンケート委員によるアンケート実施と結果に基づき待ち時間短縮、業務改善への取り組み)
- ・医療安全、感染対策への取り組み（医療安全マニュアルの改訂、インシデント・ヒヤリハットの分析及び対策）
- ・精査率向上への取り組み（フォローアップ委員より書類送付し受診勧奨を行い精査率向上への取り組み）
- ・学習への取り組み（S-QUE 院内研修、AED・手洗い講習、勉強会の開催）
- ・人材育成
 - ピンクリボンアドバイザー資格取得（初級・中級）
 - 特定保健指導実践者育成研修受講 1 名

【診療・部署実績】

- 1.看護目標に対する評価
 - 1) 中間評価（10 月）
 - 2) 最終評価（3 月）
- 2.勉強会、伝達講習会
- 3.看護手順、対応マニュアルの見直しと新規作成

◆医療技術部 検査科

【部署概要】

生理検査：身体計測、視力、肺活量、聴力、眼底、眼圧、心電図、負荷心電図、
超音波（腹部、乳房、心臓、頸部）、ABI・PWV 検査を行っています。

検体検査：生化学検査、血球数検査、免疫検査、感染症、尿検査、便検査を総合病院中央検査部に委託
（アレルギー検査、病理検査など一部外注）しています。
中央検査部システム（A & T）上で検査依頼送信、検査結果の受信を行い、
検体はバイク便（7～8 便/日）で中央検査部に搬送しています。

【診療・部署体制】

検体検査：30 分～1 時間ごとの搬送を行う事により、短い待ち時間でお客様に結果説明ができるよう中央検査部と
連携し、搬送準備、データ確認を行っています。

生理検査：スタッフは全て女性技師で行っており、女性のお客様にも安心して検査を受けていただけるよう
細やかな接客を心掛けています。また、超音波検査士や認定技師の資格取得を積極的に行い、専門性、
技術の向上に努めています。

【特色・トピックス】

- ①学習の取り組み：部署内で勉強会を定期的に(1/2 ヶ月)開催。
乳腺症例検討会（総合病院西先生指導）や外部勉強会にも積極的に参加しています。
（1/1 ヶ月 Web 配信 e-ランニング）
また業務拡大に向けてタスクシフトシェア研修会にも参加しています。
- ②他部署との連携：2023 年度は中央検査部での業務（8 日）採血研修（14 日）を行っています。
また総合病院中央検査部からの業務応援（6 日）があり連携を強化しています。
- ③精度管理調査の参加：腹部精度管理(人間ドック学会/全国労働衛生団体連合会)「A 評価」
心電図精度管理総合健診学会「良好評価」
日本臨床検査学会精度管理（生理検査）
- ④顧客満足向上への取り組み：アンケート結果に基づき待ち時間短縮や検査室の改善を行い、
お客様の検査環境の改善に努めています。
- ⑤精査率向上の取り組み：（フォローアップ委員会の活動）お客様へ書類送付で受診勧奨を行い、
返信によって把握をする事で精査率 UP を目指しています。

【診療・部署実績】

オプション検査実績

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
乳房超音波	3452	2438	2907	3128	2799
心臓超音波	275	227	284	264	245
頸部超音波	303	156	215	182	165
ABI・PWV	271	206	237	243	255

◆医療技術部 放射線科

【部署概要】

1.半日ドック	…月曜日～土曜日の午前（胸部・胃部）
10時ドック	…月曜日～土曜日の午前（胸部・胃部）
アフタヌンドック	…月曜日～金曜日の午後（胸部・胃部）
レディースドック	…毎月第4土曜日の午前（胸部・胃部・マンモグラフィ）
2.一泊二日ドック	…月曜日～金曜日の午後（胸部・胃部）
3.定期健診コース	…月曜日～金曜日午後14:30～（胸部・胃部）
4.上記以外のオプション検査	…（マンモグラフィ・骨塩定量）
5.一般健診、成人病検診、他医依頼検査	（胸部・胃部など）

【診療・部署体制】

人間ドック受診者を中心に、常勤技師3名、非常勤技師3名で放射線業務を行っている。

胃がん検診専門技師3名「撮影技術と読影力」を兼ね備え上位資格である胃がん検診読影補助認定技師が2名在籍し、胃がん検診の精度向上を図っている。乳がん検診は、検診マンモグラフィ施設認定技師2名が安心・安全で高精度な検査を実施し、認定施設として受診者に選ばれる施設を目指している。

読影体制は、遠隔読影システムを関西では先駆けて導入し12年目を迎え本邦でも有名な専門医による、高精度で信頼の高い診断を受診者に提供できる環境にあり今後さらに有用性を発信し、受診者の信頼を得ていく。

【特色・トピックス】

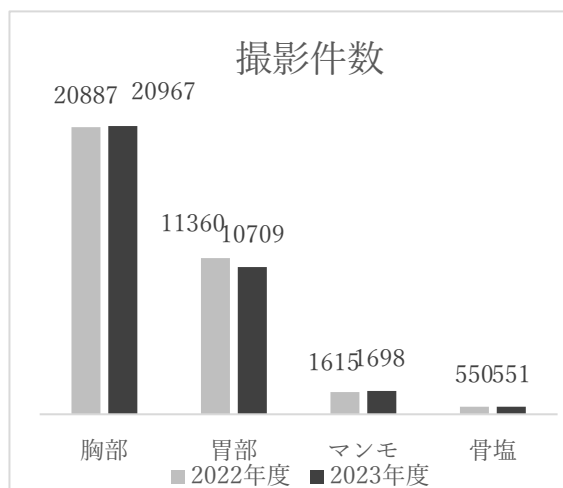
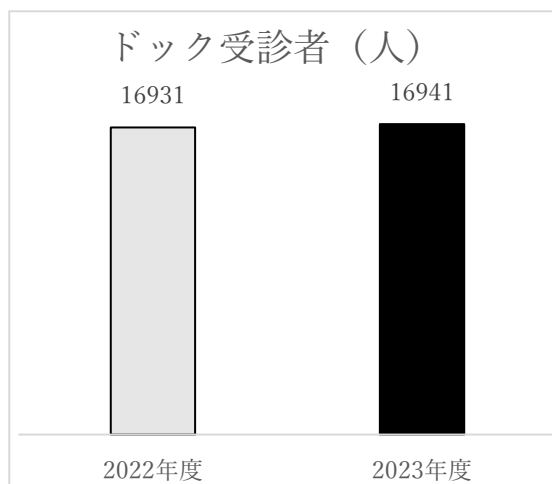
受診者が安心・安全に検査を受けていただけるよう感染対策実施施設として組織的に取り組んでいる。

受診後のGoogleフォームアンケートによると感染対策に関しては86.6%（前年度は86.9%）、放射線技師に対するCS調査では89.6%（前年度は83.6%）の受診者から満足の評価を頂いている。

胃がん検診においては、従来の胃X線検診と2016年度より、厚生労働省は内視鏡検診を認め、死亡率抑制効果は明らかである。日本消化器がん検診学会の発表では、精度管理を高精度に行い専門性の向上を図り内視鏡検査と同等な胃がん発見率の提示があった。今年度も全国労働衛生団体連合会による撮影技術、読影技術及び精度管理の実施状況を評価、指導を受けA評価（88.6点、前年度92.6点）の優良との結果を頂いた。今後も継続して信頼性の高い優良な健診施設を目指していく。乳がん検診においては、レディースデイも7年目を迎え、件数も1,615件から1,698件と83件増になり、アンケートのフィードバックからも好評を得ている。また技師読影（一次読影）と三次読影（専門医）の一致率は、前回の成績は98.5%で今年度も同等の成績を維持している。

また、きつこう会の将来構想にも対応する準備をすすめ今年度より医師のタスクシフト、タスクシェアを推進しMRI、RI検査に対して静脈路確保の実施に向けて実技研修（総合病院等）、積極的に自己研鑽に努めている。

【診療・部署実績】



◆事務部

【部署概要】

- ・事務業務全般
予約受付、受付窓口業務、請求業務、結果報告書作成業務、受診案内・結果報告書発送業務、システム管理
- ・渉外活動
健康保険組合や企業との契約、地域貢献活動、PR 活動・企画などによる顧客獲得
- ・その他
施設営繕管理や施設内総務経理業務

【診療・部署体制】

- ・施設部と巡回部に分かれ各業務を行っている。
事務部以外でも不足スタッフのヘルプや人員配置を定期的に転換している。
- ・事務（受付業務・予約受付業務・結果報告書作成業務・システム管理など）
巡回部も含め部門に関わらず人員を円滑に動かすことが出来ており組織が少しずつ向上している。

【特色・トピックス】

- 1.各種会議(委員会)の実施継続 → 更なる組織向上
- 2.新規開拓による売上・利益の増収 → 対外的活動・オプション推進活動実施
- 3.KHS 連携会議 → 他施設との連携強化

【診療・部署実績】

2 0 2 2 年 度 実 績	
一泊ドック	1 4 4 名
半日ドック	1 0 9 1 0 名
生活習慣病健診	5 9 9 1 名
定期健診	3 7 8 3 名
特定健診	1 3 5 名
巡回健診	3 0 0 0 0 名

2 0 2 3 年 度 実 績	
一泊ドック	1 2 1 名
半日ドック	1 0 5 2 0 名
生活習慣病健診	6 1 2 0 名
定期健診	3 7 5 0 名
特定健診	2 6 0 名
巡回健診	3 0 0 5 0 名

◆保健指導室

【部署概要】

多根クリニック受診者全ての方を対象として活動している。
受診当日の結果より特定保健指導やフォローアップ、その他保健指導を希望される方の健康相談など、検査結果を一緒に見ながら生活習慣の見直しや再検査が必要な方へ受診を推奨し、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸に向けて取り組んでいる。
また保健指導だけでなく、協会けんぽで受診されている方への受診勧奨業務や各契約健保への請求業務なども行っている。

【診療・部署体制】

【スタッフ】

保健師 1 名 管理栄養士 1 名

【特定保健指導】

健診当日の特定保健指導：契約健保組合の受診者の中で、保健指導対象者選定基準に基づき階層化し対象者を抽出し、特定保健指導（動機づけ支援・積極的支援）を実施している。

当日初回面談にて検査結果と生活習慣のつながりについて説明、
個々のライフスタイルに合わせた行動目標を一緒に立案し、
その後 3～6 ヶ月の継続的な支援をメール、手紙、電話にて実施している。

後日特定保健指導：利用券（特定保健指導対象者に健保組合から配布）がある対象者から連絡があり日程調整をして実施している。

巡回部の契約健保に対して事業所を訪問し特定保健指導を実施している。

月末の特定保健指導の請求業務を行っている。

【フォローアップ】

人間ドック受診者のうち血圧・脂質・血糖で C3 判定（3 ヶ月後再検査が必要）の方を対象に当日に保健指導を実施している。生活習慣の改善点を一緒に考え再検査の必要性について説明している。
4 ヶ月後に再検査受診状況を調査するアンケートを送付している。

【受診勧奨業務】

協会健保の受診者で血圧と血糖が受診勧奨値の方が対象。
結果発送担当と連携し保健指導室で対象者の一覧を作成後、受診勧奨チラシを結果発送時に送付している。

【特色・トピックス】

- ・特定保健指導の当日実施は約 20 の健保組合と契約
特定保健指導の実施率や終了率向上に向けて健保組合と連携。
 - ・保健指導対象者抽出を迅速に階層化するため、受診日前日に前回値及び問診内容をチェックし、情報収集した上で対象者をリストアップ。
総合病院と連携しているおかげで血液検査結果が当日に確定する。リアルタイムで保健指導が実施できることで、各健保組合の特定保健指導実施率向上に繋がる。
 - ・初回面談の担当者が 3～6 ヶ月の継続的な支援を実施。
 - ・受診者からの希望時、生活習慣や食生活改善の指導を実施。
 - ・保健指導のスキルアップのため研修を受講
- 2023 年度 人間ドック健診情報管理指導士（人間ドックアドバイザー）認定取得

【診療・部署実績】

・特定保健指導

2022 年度：初回面談者 592 人（積極的支援 249 人+動機付け支援 343 人）

2023 年度：初回面談者 528 人（積極的支援 247 人+動機付け支援 281 人）

・受診勧奨実績

2023 年度：受診勧奨該当者 253 人 受診勧奨実施 228 人

【資格一覧】

施設： 多根クリニック

部署： 医局

役職・氏名	資格
院長 門脇 隆敏	
副院長 堺 栄子	

施設： 多根クリニック

部署： 検査科

資格	人数
超音波検査士(消化器)	4 名
超音波検査士(泌尿器)	1 名
超音波検査士(健診)	1 名
2 級臨床検査士（循環器）	1 名
ピンクリボンアドバイザー（中級）	2 名

施設： 多根クリニック

部署： 放射線科

資格	人数
胃がん検診専門技師	3 名
胃 X 線検診読影補助認定技師	2 名
検診マンモグラフィ撮影認定技師	3 名
総合健診指導士	1 名

施設： 多根クリニック

部署： 看護部

資格	人数
医療安全管理者	1 名
ピンクリボンアドバイザー（初級）	2 名
ピンクリボンアドバイザー（中級）	2 名

施設： 多根クリニック

部署： 保健指導室

資格	人数
第一種衛生管理者	1 名
人間ドック健診情報管理指導士(人間ドックアドバイザー)	1 名

社会医療法人きつこう会